



昭和48年  
12月号

発行所 東郷町役場  
編集人

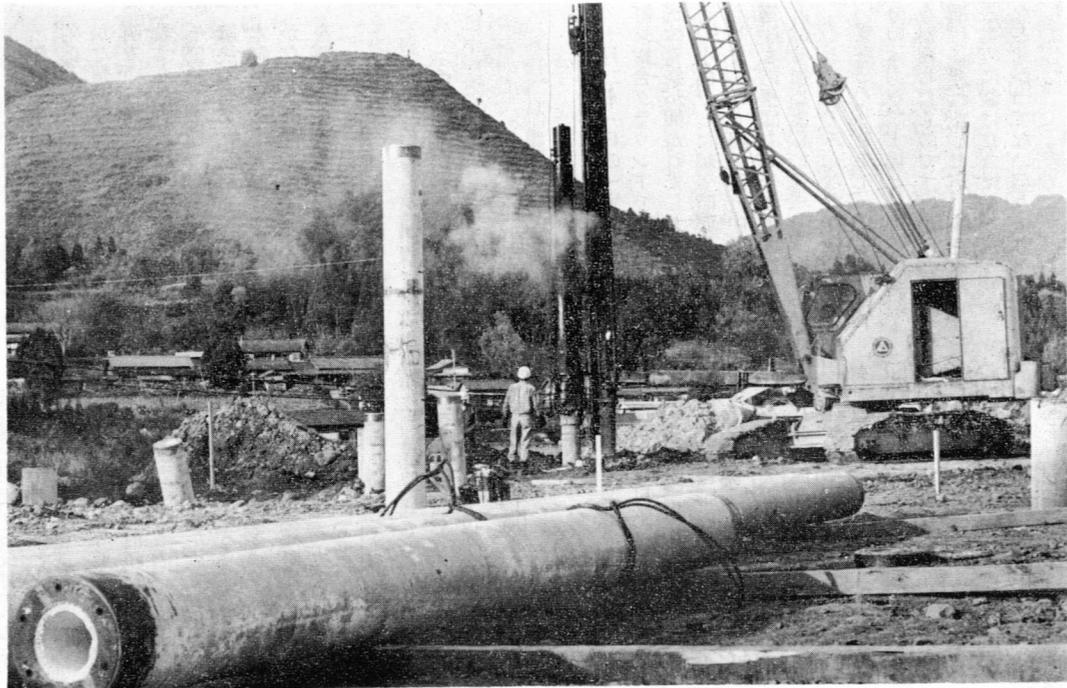
# 町民の医療を確保

## 町立病院の新築工事に着手

かねてから町立病院を新築すること計画でしたが、このほどようやく工事に着手しました。場所は、いまの病院の東側、国道三二七号線沿いの埋め立て地です。現在の病院は昭和二十九年に国民健康保険の直営診療所として発足し、三十七年四月に伝染病棟を併設し病院に昇格したものです。開設以来二十年を経過し、施設が古くなり、また四十二年ごろから医師の確保がむずかしくなり病院経営は悪化し、一時は病院の閉止、縮小など存廃論も持ちあがりました。その後ようやく医師も定着し、さらに老人医療費の無料化もあり患者は急増して、病院経営は好転し、ようやく病院新築の運びとなったものです。

二階建てで、延面積は千五百八十八平方メートルの近代的施設で、総工事費は約一億二千万円です。計画では六百八十八万四千円をかけて万能手術台、无影灯、各種検査器械、理学療法器械などの最新医療機械を設置するほか、冷暖房完備など機能的なシステムを採用して、七千町民の医療センターとして内容の充実をはかることにしています。また、現在不足している病床も一般病床二十九床になりますので希望者はほとんど入院できるようになると思います。

完成は来年六月の予定ですが、病院が完成すると医師を中心とする人容の強化につとめ、名実ともに町の公立医療機関として、また入郷町村のモデル病院としてその運営発展が期待されています。



建設現場で基礎工事がすすめられている

第三日曜日(十六日)は家庭の日

○……………としておくくと便利です……………○

### 点滴



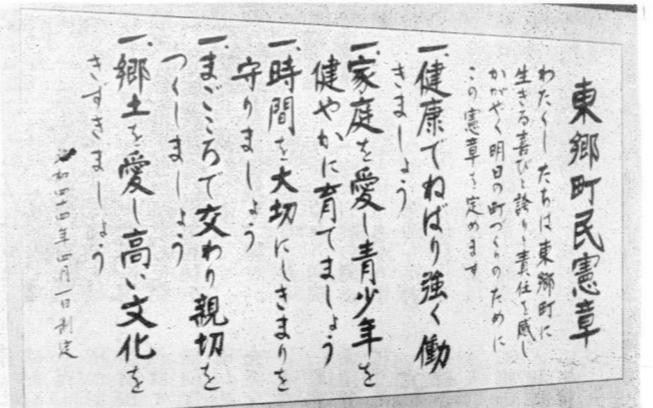
#### 青年と祭

寒さも日一日とまじまじとやってきました。ことしもいよいよ最後の月、十二月はくらしの上での年度末です。

▽十一月は町内の神社では秋祭りがありました。ここ数年前まではさびしい祭りでしたが、近年、青年たちが中心になり白太鼓踊りや演芸大会を奉納し、にぎやかな祭りがくりひろげられました。少なくなったといわれる青年たちががんばりです。

▽十二月は一年中でいちばん日が短く、まごまごしているうちに一日が終ってしまうようです。でも考えてみればそれだけ夜が長いということです。家事の手順は月のはじめにカレンダーの余白か、小さな黒板でも利用し、今月のおよその日程表をこしらえて、手ぎわよく家事をすすめてゆこうにしましょう。インフルエンザの流行中です。お互い注意しましょう。

ひろまりて久しく見れば遠山の日向の冬木風さわぐらし  
牧水



第1回町民大会

町民憲章の実践確認

宣言
激しく変ぼうする社会情勢に
対応して、たくましく生き、豊
かな情操と高い知性をもって、
明るい社会、住みよい郷土を建
設するために人間性の回復こ
そ緊急の課題である。この課題
解決のために私たちはこぞって
本町民憲章の実践につとめ、豊
かな郷土の建設に邁進すること
を誓うものである。

自分の体力を試す

10月21日に町民体育祭開く

△決議
一、遠い祖先から受けついで美
しい郷土の自然と生活環境を
大切にす。
二、明るく豊かな郷土づくりの
ため、相互に信頼を深め、互
いに協力する。
三、連帯感をたかめて町民憲章
の実践に努める。
以上決議する。
第一回東郷町民大会

4分49秒0
△八百リリレー①鶴野内1分44
秒0②小野田1分46秒1③坪谷
△年輪別リレー①坪谷2分21秒
1②福瀬2分26秒0③羽坂2分26
秒2

【女子】
△60リ 10代(学生)①矢野ひ
とみ(田野)9秒2(一般)①吉
野千草(鶴野内)9秒3 20リ24
代①寺田好美(鶴野内)9秒0
25リ29代①藤崎月子(八重原)黒
木絹子(鶴野内)10秒0 30代①
高瀬藤子(寺迫)9秒8 40代①
海野延子(越表)小林マチ子(羽
坂)10秒9
△百リ(学生)①矢野純子(坪
谷)14秒7(一般)①寺田好美
(鶴野内)15秒0
△四百リリレー①小野田1分2
秒1②坪谷1分2秒9③八重原
△年輪別リレー①坪谷1分54秒
2②大会新③鶴野内1分54秒7
③小野田

【男子】
△百リ25歳以下(学生)①高山
睦男(八重原)12秒4(一般)①
鈴野浅夫(鶴野内)福良信一(小
野田)12秒9 26リ29代①仁田弘
幸(福瀬)矢野博(小野田)山口
和行(鶴野内)13秒0 30代①都
甲勇吉、都甲義典(小野田)13秒
4 40代①富山勲(坪谷)13秒7
50代①直野政一郎(福瀬)木村誠
(小野田)15秒0
△二百リ(学生)①若林義祐
(小野田)26秒1(一般)田中吉
次(仲深)25秒6
△五千リ①三浦一郎(坪谷)16
分29秒0②大会新
△千五百リ①三浦一郎(坪谷)

△職場対抗リレー①坪谷中学校
②郵便局③山口精肉
△公民館対抗リレー①小野田1
分27秒8②越表1分28秒6③仲深
1分30秒3
△消防団対抗リレー①本部1分
24秒0②6部1分26秒8③8部1
分27秒0
△努力賞 福瀬公民館

十一月二十六日に中央公民館で
第一回町民大会を開催しました。
この大会は明治百年記念事業とし
て建設した中央公民館の開館を記
念して「健康で明るく豊かな郷土
づくり」を合言葉として開かれた
ものです。
多数のみなさんから参加してい
ただき、おたがい力を合わせて
これからの東郷町の産業、文化の
発展と福祉の向上に精進すること
を誓い、あわせて町民憲章の実践
を再確認し、有意義のうちに終了
しました。
大会では郷土芸能のアトラクシ
ョンをまじえて、功労者の表彰、
記念講演、宣言決議が行なわれま
した。

表彰並びに感謝状の贈呈
産業、文化、教育、社会福祉な
ど各方面にわたって町勢の進展に
貢献された次の方たちを表彰並び
に感謝状を贈り、その功績をたた
えました。
▽美術工芸 福谷忠治(鶴野内)
▽学童の交通事故防止と生活指導
塗木豊(鶴野内)▽産業の振興
橋口和吉(寺迫)田辺清吉(福
瀬)▽教育文化の振興 塩月儀市
(小野田)▽産業文化の振興 新
名岩喜(福瀬)甲斐善平(仲深)
▽産業文化と社会福祉の向上 日
高郡司(坪谷)
記念講演
▽演題 日本人の心
▽講師 評論家 村松 剛先生

十月二十一日の「家庭の日」に
町管総合グラウンドで第十三回町
民体育祭が開かれました。あいにく
の小雨でしたが一時遅れて開
会しました。悪天候の中でしたが
選手も応援団も昨年以上の約二千
人が参加しました。
ことしは、みんなで健康な明る
い家庭づくりをテーマにして、自
分の体力を試す場としての体育祭
を計画したものです。雨のために
進行は遅れましたが、親睦を深め
るために設けた公民館対抗リレー
など、かつてない盛り上りをしめ
しました。
種目別の最高記録はつぎのとおり
です。

昭和48年を送る

東郷に生きる喜び

町長 小野 弘



あわただしかった昭和四十八年
もあと一カ月で暮れようとしてい
ます。この一年間町勢振興のため
にいろいろとご協力をいただき深く
感謝を申し上げます。
一年間をふりかえってみるとい
ろんなことがありました。
まず国際的には年末近くになっ
て中近東で戦乱が起り、一時はど
うなるかと案じましたが、双方
の理解によって停戦となり、平
和が招来されたことは喜ばしい
ことであります。ところが、心配
されていた石油の問題に火の手が
あがり、これが燎原の火のごとく
世界的問題となりました。
日本でも石油をめぐって深刻な

政治問題に発展し、政府において
も対策に苦慮しています。
公害、物価の問題は未解決のま
ま年を越そうとしています。経済
成長に便乗した買ひだめ、売りお
しめ、このことが結果的に物価に
大きな影響をおよぼしています。
その上に石油問題が重なり、国民
の経済生活は大きく動揺していま
す。沖繩の海洋博、本四架橋も延
期という事態に追いこまれました。
これらの問題をたどって今後
国の施策がどう変わるのか、いずれ
にしても国民一体となつてこの危
機を乗り越える心がまえが必要とな
つてきました。
このようななかにあつて町政執
行の面にいろいろの問題がありま
した。
一年をふりかえって想起される
ことは、四月八日に小林市ひなも
り台で第二十四回全国植樹祭が開
かれ、自然の保護と創出というこ
とで、郷土の森、野鳥の森という
た全国でもめずらしい植樹祭があ
り、本町から二百人が出席しまし
た。町ではこれに呼応して町独自

の植樹祭を牧水の丘で行ないまし
た。「明るい郷土、豊かな緑」の
スローガンで盛大に植樹祭が行な
われました。この機会に町の木に
山ざくら、町の花に尾鈴寒ラン、
町の鳥にキジを町のシンボルとし
て愛護することに決めました。
経済の変動に伴ない経済団体の
再編成がさけられるようになり、
農業協同組合が合併しました。そ
の前に農業共済制度を合併するこ
とになり、四月一日に日向地区農
業共済組合が発足しました。農業
災害の救いとして活躍を期待する
ところであります。

本町には福瀬地区児童プールと
寺迫小にプールがありますが、東
郡小学校区域からも熱心な希望が
ありました。幸い国の補助や融資
を受けて七月に完成、焼けつくよ
うな夏の日にプールの中ではしゃ
いで泳ぐこともたちを見て早く作
つてよかったです。国民皆
泳がいわれている今日、水泳の基
礎をつくり、健康を増し、事故を
なくしてほしいと思います。
畜産の振興をはかるためには飼
料の問題を解決することです。坪
谷川の沿岸には飼料の基盤を整備
する好適地がありますが、国県の
援助をうけて二十畝の飼料畑を造
成することになりました。場所は
仲深区下仲瀬の県道の対岸で、仮
称赤松橋をかけることにしていま

今年最大の事業として東
郷病院の新築工事に着手しまし
ました。資材、労賃など値上りした
情では苦労があるわけですが、医
療こそ町民に対する最大のサービ
スと考え、あえて断行しました。
このほか牧水農免道路の第二期
工事、開バ事業、大型農道の整
備、福瀬地区簡易水道、町道の改
良舗装、追加林構の実施、地域集
団電話の増設、テレビ難視聴の解
消として熊山に民放中継塔の建
設、生活改善センター工事着工、
八重原公民館の建設、福祉事業の
推進などの仕事を手がけてまいり
ました。
五月上旬には牧水先生が創始さ
れた創作社の社友百五十人が記念

東郷町の十大ニュース
○全国植樹祭を記念して東郷町
植樹祭開催および牧水公園開
設(三月)
○町の木(山ざくら)、町の花
(尾鈴寒ラン)、町の鳥(キ
ジ)を指定する(三月)
○旧廃止鉱山(尾鈴、倉谷)の
鉱害防止工事(三月)
○地域集団自動電話の第二次増
設で電話普及率七七%(四月)
○町管住宅山陰団地の完成(四
月)
○農業共済事業の広域合併によ
り日向地区農業共済組合が発
足する(四月)
○中央公民館の開館(四月)と
東郷小プール完成(七月)
○農業協同組合の広域合併によ
り日向農業協同組合発足(八
月)
○第一回町民大会の開催、表彰
や記念講演行なう(十一月)
○集落再編モデル事業および飼
料基盤整備事業の実施

館に集まり、盛大な創作社大会が
開かれました。
また、私個人にとりましては思
いもよらぬ厚意によって二カ月に
わたる海外旅行を経験させていた
だきました。
思い出多き昭和四十八年が終ろ
うとしています。海外にあつて
は日本に生まれた喜び、日本にあ
つては東郷に生まれた喜びをつく
づくと感じた年でした。
自然に恵まれた豊かな郷土があ
ることは人間にとってこれ以上の
幸せはないと考えます。この幸せ
な心を持って、ふるさと東郷をま
もり、また新しいふるさと東郷を
建設していかなければならないと
思います。

昭和四十七年度決算から

中央公民館など建設

町の台所はどうであったか

昭和四十七年度東郷町の一般会計と特別会計の決算が九月定例会議会で認定されましたので、その状況を報告します。

一般会計

四十七年度予算は①社会福祉事業の推進②道路網の整備③環境の保全④行政の推進⑤農林業の振興⑥教育の振興——などを重点施策として三月定例会議会で成立しました。年度途中で、公害対策事業(亜ヒ酸処理)、老人医療費の改定、衆議院議員の選挙、集落再編モデル事業、災害復旧事業、職員給与改定の実施など、必要な経費に充当するため七回にわたって予算の補正をしましたので、予算の総額は六億四千五百七十六千円となりました。

どが増えたためです。歳出は支出済額六億二千四百六十七万八千円で、予算現額に対して二・五%下まわる結果となりました。

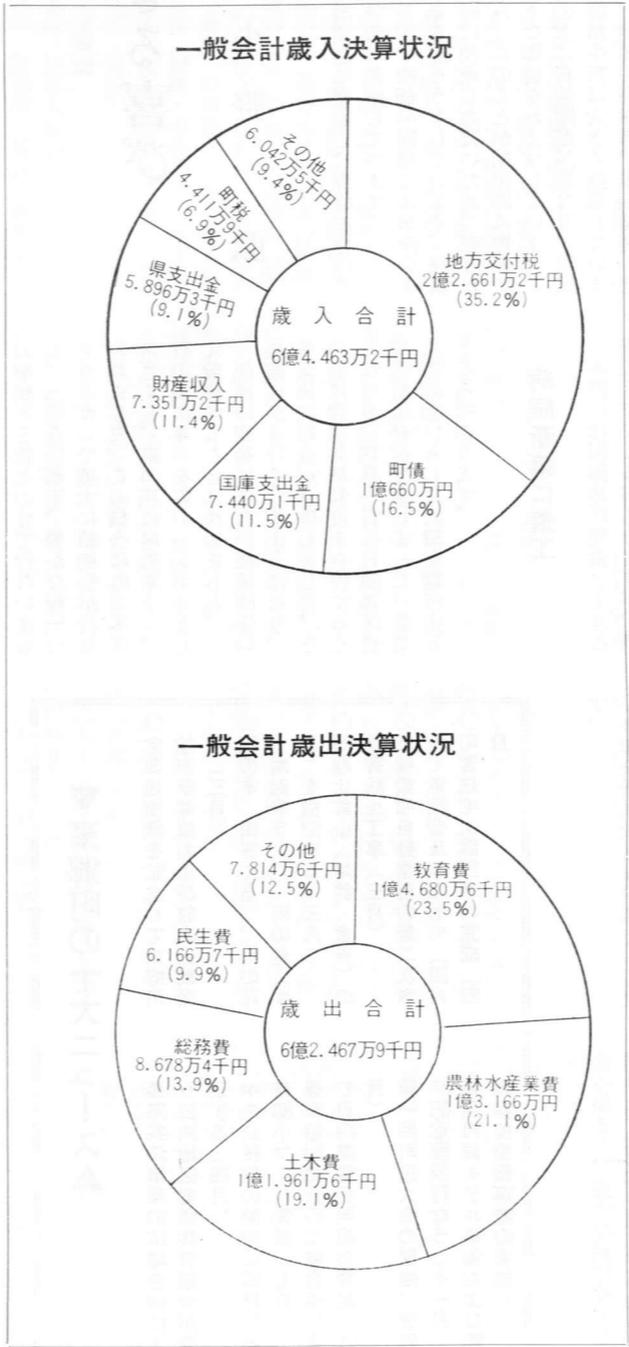
特に本年度は歳入歳出差し引き一千九百九十五万三千円と多額の剰余金を出し、翌年度へ繰り越すことになりました。これは木材需給の悪化にともない、木材価格が

暴騰したため、財産収入(立木売却)の収入増が主な理由としてあげられます。

それぞれ高いウエイトを占めており、ついで総務費、民生費の順となっています。なお、これを性質別にみると、普通建設事業費が最も高く、二億九千三百六十六万四千九百九十九円(四六・九%)となっています。これは中央公民館、町営住宅、福瀬大橋などを建設したためです。ついで人件費が一億五千八百三十二万二千円(二五・三%)、物件費が五千二百二十二万八千円(八・四%)、補助費等三千四百六十二万八千円(五・六%)の順となり、歳出の構成比はほぼ好ましい結果となりました。

歳出構成比は良好

歳入歳出の決算状況は別図のとおりですが、歳入は前年に比べ一億五千三百六十六万四千九百九十九円(四六・九%)の増で、その構成比は地方交付税が最も高く、三五・二%を占め、ついで国庫支出金、財産収入、県支出金、町税の順になっています。そして不足する財源は町債をもって補う結果となりました。



待望の福瀬大橋完成

越表地区の倉谷と尾鈴の両休庵止鉱山で抗排水による汚染と亜ヒ酸の残留が認められる製錬釜の放置が問題となり、国の補助事業でこれら両鉱山の鉱害と危害防止工事を行ないました。

民生費

老人問題は、今日深刻な社会問題であり、国や県の重要な施策の一つとされています。町でも、これら国県の施策に呼応して積極的に老人福祉対策をすすめました。特

に、四十六年十月から七十五歳以上の老人を対象に、医療費助成制度が実施されましたが、四十七年四月一日から本人の一部負担制が廃止され、全額支給に改められ、さらに四十八年一月一日から年齢引下げによって七十歳以上の老人は事実上医療費全額無料化が実施されました。

また、次代をなすすべての児童が心身ともに健やかに育つようにと児童手当の支給などを行ないました。

衛生費

保健衛生の重点は町民の公衆衛生の普及啓もうと予防衛生の指導育成の面から事業をすすめてきました。特に、東郷町と日向市の共同施設として処理場の建設に着工し、四十八年度完成を目ざして敷地造成、道路整備と一部本體工事を進めました。

農林水産業費

米の生産調整に加え、みかんの生産過剰による価格の暴落は農家に大きな影響をあたえ、農業の振興をはかるうえに不安な材料となりました。そのため米の生産調整対策をはじめ、養蚕、み

かん、和牛を主軸として経営の改善と合理化をすすめました。耕地事業では農業経営の整備をはかり、農業経営の近代化を促進するためウトギ橋改良をはじめ、農道舗装工事を実施しました。美々津地域農用地開発事業では寺迫地区(みかん)百五十七ha、小野田地区(桑、草地)百三十一・九四haの農地造成と道路工事を完成し、造成地にはそれぞれみかん、桑を植栽しました。

また、交通条件が悪く、医療や教育などの基礎的な公共サービスの確保がむずかしい地区である耳川対岸の宮ヶ原と横瀬の十七戸を山村振興法にもとづく集落再編モデル事業として、国県の補助を受けて二年計画で福瀬小学校下にまとめ移転することにしました。第一年度事業として、宅地と道路の造成と、移転世帯のなかで農業経営の規模拡大を希望する農家に對して集団桑園地の造成と壮蚕飼育所、農業倉庫、索道事業を実施しました。

林業の振興では民有林の経営指導、枝打ち間伐指導、拡大造林、しいたけ増産の近代化につとめました。さらに追加林業構造改善事業の初年度として、林道小屋の谷線の開設、入会林野の整備近代化などにつとめました。

特別会計

- ※国民健康保険事業会計
  - 歳入 九千四百五十万六千円
  - 歳出 八千六百二十七万七千円
- ※簡易水道事業会計
  - 歳入 二千四百五十五万五千円
  - 歳出 二千四百十七万七千円
- ※病院事業会計
  - 歳入 六千九百六十八万五千円
  - 歳出 六千九百六十四万五千円



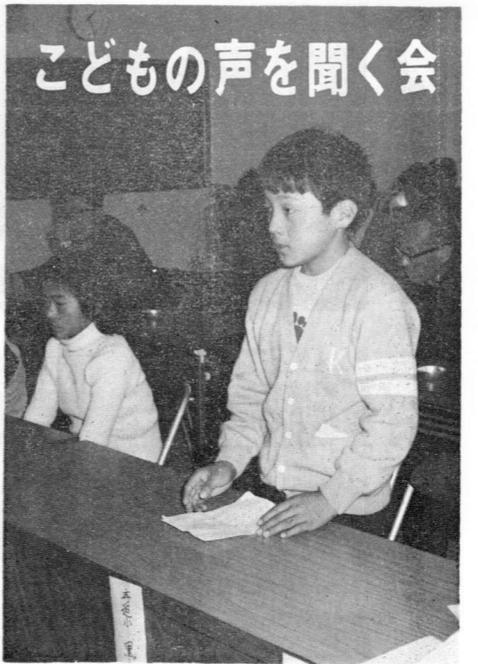
福瀬大橋の完成



中央公民館の開館



開バ事業すすむ



### こどもの声を聞く会

十一月十五日に中央公民館で、「こどもの声を聞く会」が開かれ町内各小、中学校の代表(男女各一人計十六人)が参加しました。この会は町の青少年問題協議会の主催で、町内のこどもたちのえがく理想や生活体験、教育、社会環境などをとおして考えているこ

と、あるいは将来に対する展望などについて意見を聞き、こどもたちの社会参加と行政との対話を深めるとともに町政に対する理解と見聞を広める——ことを趣旨として開かれました。発表のテーマは①未来の郷土づくり②こんな人になりたい③おと

### みんなで楽しい新年を

師走ともなるとますますと世間も何かと忙しくなります。それにつれて人の心もせわしくなり、特に今年には中東戦争の影響による石油不足に便乗するように、紙や塩、砂糖まで店頭から消え、灯油の値上げは寒い年末となりました。経済成長日本とはいえ、まだ恵まれない生活やねたきりなど

不遇な人もたくさんいます。このような人たちにはいつもあなたたかい手をさしのべ、みんなで見守っていかねければならないと思います。町社会福祉協議会では毎年このような人たちが少しでも楽しく正月を迎えられるようにと歳末慰問を実施しています。みなさんからの例年以上のご協力をいただきますようよろしくおねがいします。東郷町社会福祉協議会

- ・ 道路施設などを整備して、交通事故のない明るい町づくり。
- ・ 学校の施設を充実させ、また若者が郷土に残れるような施設をつくり活気ある町づくり。
- ・ こんな人になりたい
  - ・ 自分からすすんで何でも熱心に最後までやりとげるような人になりたい。
  - ・ 父が入院した時に受けた看護婦の仕事に感激し、自分も看護婦になりたい。
  - ・ 郷土に残り、みんなから信頼される人、また、郷土の建設に役立つ建築技師になりたい。
  - ・ 老人にやさしく、また人の悩みを聞き、平等に人を助ける人になりたい。
  - ・ 米などが高いので農業をして安い農産物をつくりたい。
  - ・ 小さい子どもがいて仕事のできない母親のために、保母になりたい。

なへの願いの三つで、発表は司会者により座談形式で話し合いを行ないました。発表の内容をまとめると次のとおりですが、こどもたちはみんな信念をもって、堂々と意見をのべ心強く感じられました。未来の郷土づくり

- ・ おとなとこどもがゆっくり話し合える時間がほしい。例えば食事の時間などを利用して、学校施設や通学路の安全施設を整備してほしい。
- ・ おとなはこどもに対して交通规则を守れと言うが、おとなも正しく守ってほしい。
- ・ おとなはもっと勉強してほしい。また、こどもが勉強している時はテレビの声を小さくして

### 12月4日に 間伐講習会

優良材を生産するには間伐をすることが絶対の要件ですが、町内はほとんど間伐をしていないのが実情です。町では今回市之股町有林の間伐を行なうにあたり、間伐の作業し

十月十四日に宮崎市の県営総合グラウンドで第十一回宮崎県身体障害者スポーツ大会が開かれ、本町から選手三人と応援十五人が参加しました。記録はつぎのとおりです。

- ▽日時 十二月四日午前十時より
- ▽場所 市之股町有林(田野区稲葉野部落より作業道二丁)
- ※雨天順延。筆記具、昼食持参
- 身体障害者スポーツ大会
- ▽男子砲丸投 一位(金メダル)
- ▽男子ソフトボール投 一位(金メダル) 二位(黒木健一郎(寺迫))

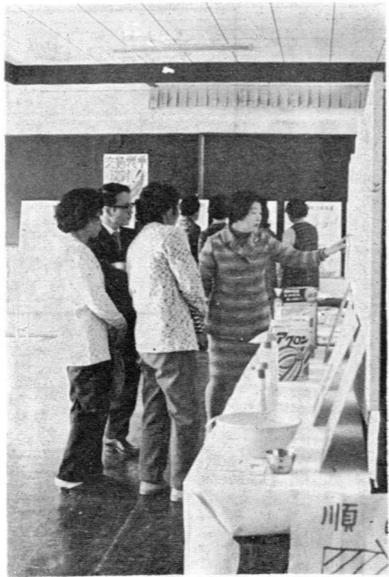
### 文化祭にぎわう

相撲やラン展示も参加



### 消費生活の展示会

安心した消費生活のために



十一月に行なわれたことしの総合文化祭は例年になく盛り上がりを見せました。まず体育部門では十一日に公民館対抗のバレーボール大会が町営グラウンドで開かれ、男女二十チームが参加しました。二十日に小学生男子ソフトボール、女子バレーボールの球技大会、二十二日に中学生男女の庭球、男子柔道、女子バレーボールの対校試合がありました。二十三日に公民館対抗ソフトボール大会と相撲大会も初めて開かれました。また文化部門では恒例の学芸品展示会に加えて尾鈴寒ラン展示会と消費生活展示会も初めて参加し一段と有意義な文化祭でした。



ことしの町総合文化祭行事の一つとして消費生活展示会が十一月二十二日から二十七日までの六日間、役場講堂で開かれました。この展示会は宮崎市にある県の消費生活センターのパネルや図表それに商品の現物を展示して、町内の消費者のために少しでも役にたち、消費生活のうえで安心して衣食住の生活を営むための知識を身につけてもらおうと開かれました。また、この日は県の消費生活センターから専門の職員三人も来て、消費生活に関するいろいろな相談にも応じてもらい、簡単な商品テストなども行ないました。身近な問題だけに訪れた人たちは熱心に勉強していました。

### 郷土のあゆみ (12)

塩月儀市

#### 十 江戸時代(一)

徳川家康が慶長八年(一六〇三)江戸に幕府を開いてから慶応四年(一八六八)江戸幕府が崩壊するまでの二百六十五年間を呼びます。

江戸幕府は武將を各地に配し中央集権制をしました。幕府から一万石以上の領地を与えられた武將を大名と呼び、幕府の指揮下におき、その領地を治めさせました。その領地を藩と呼びます。幕府は諸大名の領地の外に直轄地(天領)を有しました。

九州の直轄地は豊後国日田に西国郡代という役人がいてこれを治め、日向の幕領地(約二万七千石)は富高に日田代官の出張所の陣屋という役所があつて治めました。

この陣屋に属する幕領地は富高、細島、平岩、坪谷、下三ヶ村で、その他は延岡藩でした。延岡藩主は高橋氏——有馬氏——三浦氏——牧野氏——内藤氏です。

高橋藩主の祖先種は文禄元年の朝鮮征伐に参加して帰陣しました際、朝鮮の産業方面の技術者を伴って領内の産業の振興に意を用いたので、その領内で

ある本町の産業にも何等かの影響を与えてあります。有馬氏は産業政策に意を注ぎ植林、木炭製造などを始めました。本町の製炭は延宝六年(一六七八)頃に始められました。有馬氏第三代藩主、主永純の時山陰百姓一揆が起りその責任を問われて越後の糸魚川へ移封になりました。

延慶世鑑には次のように記してあります。「元禄三年庚九月十九日臼杵郡山陰村ノ百姓男女千五百人永純郷ヲ背キ秋月藩内ニ出奔ス。此故郡代梶田十郎左衛門が非道ヲ怨ミ薩州ヘ亡命ノ覚悟也。コレニ依ッテ秋月家ヨリカケ留置テ延岡ニ知セ玉フ。有馬ヨリ歴々ノ侍ヲ遣サレ度々招キ玉ヘ共色々ノ望ノ事有テ婦ラズ、コレニ依リ野中ニ小屋ヲ営ミ秋月ヨリ扶持ヲ賜ハル。遂ニ年ヲ経テ明春亡命ノ頭百姓二十人并郡代梶田十郎左衛門、代官大崎九左衛門筆者伊東左衛門村田長右衛門目付野津三郎左衛門ノ輩家老衆召連江江評定所ニ於テ対決アリ然ルニ百姓共越度ト成リ延岡ニ於テ頭取善助市兵衛磯原其ノ男子ハ死罪妻并女子ハ引上者ニセラル、半蔵佐次兵衛助助重右衛門ハ死罪半蔵ノ男子ハ死罪是ハ百姓ニ頼マレ願書ヲ認メタル者ナリ」(以下次号)

### お知らせ



### 安心して出かせ ぎができるため

#### 出かせぎ援護協会の設立

このたび県と市町村が一体となつて、出かせぎ者のみなさんが安定した就労ができるように、また留守家族のかたも安心して出かせぎに送ることができるようにと、「宮崎県出かせぎ援護協会」が設立されました。

この会では①賃金不払いなどの一時立替え②弔慰金、見舞金の給付③出かせぎ相談、技能講習会、就労先における打合わせ会などの開催——などの事業を行ない、出かせぎのみなさんが「笑って出かけて笑って帰る」ことのできる出かせぎにしたいと考えています。

#### 交通事故の相談

交通事故をおこした人や交通事故故によって負傷したり死亡などの被害を受けてお困りの方のために

### ノドを痛める季節です

ウガイの習慣をつけましょう



次のとおり交通事故相談所を開設します。県から専門の相談員が来町して相談に応じますので、関係者はおもれなくおいでください。

▽場所 老人福祉館

### 年賀郵便や 小包は早目に

郵政省では、本年の年末年始の郵便物数を、年賀二十三億通、小包三千四百万個と見込んでいます

この膨大な郵便物をスムーズに処理し、よりよいサービスを提供できるように郵便局では最善の準備をすすめておりますが、年末は平常の数倍におよぶ郵便物が出回りますので、小包や年賀状は早めにお出しいただき、次の点にご協力をおねがい申し上げます。

年末の小包は12月15日までに

贈答用の小包など年内に届けた品物は、一日も早くお出しください。小包の包装は完全に丈夫なひもでゆわえてください。

あて名ははっきりと

あて名は大きく番地、棟、室、番号、肩書まではっきりお書きください。

郵便番号は正しくハッキリと

郵便局では、区分け作業は郵便番号によって仕事をしていますので、早く正確に届くためにも、郵便番号をお忘れなく、あて名にもあなたの住所にも正確に記入して

### 今月の納税

国民健康保険税 五期  
固定資産税 三期  
納期 十二月二十五日

ください。

年賀状は早めにお出しください。年賀状の受付は、十二月十五日から始まりまます。せつかくの年賀状が元旦に間にあうよう早めにお出し下さい。

山陰郵便局  
坪谷郵便局

### 電話番号の変更

農林課の酒井獣医宅の電話番号が次のとおり変更されましたのでお知らせします。

(山陰局) 五二九五番

### 香典返し

◆寺迫区の植野誠さんから故柴助さんの忌明けに香典返しとして町社会福祉協議会にご寄付いただきました。

ここに慎んで故人のご冥福をお祈りしますとともに厚くお礼を申し上げます。

東郷町社会福祉協議会

### 出生 おめでとう

十月届出分



赤ちゃんの名	父の名	部落
海野 章吾	光威	寺迫
川越 洋二	洋	仲深
阿万 文裕	貞男	坪谷
小林 秋子	猛	羽坂
長池 真二	国男	福瀬

### 結婚 おめでとう

氏名	部落	
黒木 梅幸	子男	都寺
黒木 梅幸	子男	都寺
黒木 梅幸	子男	都寺

### 死亡 ご冥福を祈ります

氏名	年齢	部落
寺田 イノ	七六	羽坂
植野 栄助	六三	寺迫

### 人口

48年11月1日現在	
( )は対前月比	
男	3,365人 (-6)
女	3,649人 (-5)
総数	7,014人 (-11)
世帯数	1,768世帯 (-3)